



みなさんは、日々の暮らしの中にご近所付き合いはありますか？
また、気の合う仲間がいますか？

5年後、10年後に向けて「住みやすい、住んでいてよかった。」と思える、「人と人とのつながりのある地域」をめざし、それを「地域のお宝」として、ご紹介していきます。

取材先

綿打地区 芝山芳雄さん 93歳



2年半前に奥さんを亡くし、今は1人暮らしの芳雄さん。

夫婦ともに聞き上手で、奥さんがお元気だった頃は芳雄さんの家は人の出入りが絶えなかったそうです。

1人暮らしになった今も**周りの人とのつながり**は続き、近所の**友達とお茶飲み**をしたり、民生委員の家を芳雄さんが訪ねたりと元気に過ごしています。

芳雄さんの一日は、居間でゆっくりする事から始まります。

お茶を飲みながら新聞を読み、朝食の後は畑仕事をするのが日課です。

「昨日は半日ジャガイモ掘りをしたよ」と立派なジャガイモを見せてくれました。



芳雄さんの自慢の畑はジャガイモ、大根、ナス、キュウリ、トマトなど、たくさんの作物が育っています。

キュウリ畑には周辺にワラが敷かれ、ナスの木には丁寧に支柱が立ち、まめに草取りをして雑草が1本も生えていない、とてもきれいな畑です。収穫した野菜は近所の方などに**おすそ分け**をして喜ばれています。**野菜をつくる事には、とても自信がある**そうです。

「娘も孫も野菜が大好きで、うんと喜ぶんだ」と芳雄さん。芳雄さんが作った野菜で娘さんがおかずを作って届けてくれるそうです。



地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～



芳雄さんの元気の秘訣は日本酒を毎日

1合飲むこと。

20年以上続けているそうです。

「それだけ大病してないってこと」と話してくれました。

自転車に乗ったり、杖を使用しての散歩や買い物に出る事も元気の源となっています。市の巡回バスを利用して買い物に出る事もあります。

「84歳くらいまでは4キロくらい平気で自転車に乗っていたよ」と教えてくれました。

多趣味な芳雄さんは野球が好きで、昔は芳雄さん自身もピッチャーとしてプレーし、敷島球場で試合をした事もあります。

今は**毎日、新聞を読み、野球の研究をするのが楽しみ**だそうです。選手の研究、分析をしています。

また、小学生の頃から歴史が得意で歴代の天皇の名前を暗記しています。

10月で94歳になる芳雄さん。

「94まで生きてると色々な事がある。今、生きているのが珍しいくらい」と言います。

若い頃は中島飛行機技術学校まで砂利道を自転車で通い、戦争を経験した芳雄さん。

「旧新田町でも爆撃があって北の空が真っ赤だったんだよ」と教えてくれました。

航空隊を志願し、霞ヶ浦航空隊に決まって出征しようと思ったら終戦したそうです。

「戦争に行けば、帰れないと思っていた。終戦など色々な事が重なって今、こうして元気に生きていられる」と話してくれました。



チェックポイント

○毎日、畑仕事や新聞を読んで野球の研究をしたり、**楽しみをたくさん持って生活することが心も体も健康でいる秘訣**になっている。

○コロナ禍でもお茶飲みやおすそ分けを**継続し関係を切らず**に過ごしている。

お宝情報を募集中!**「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」**など、**あなたの地域のつながりを教えてください。**情報をお持ちの方は下記お問合せまで!



お問い合わせ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係

〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549

TEL 0276-46-6208 FAX 0276-46-6229

詳しくはこちら

